

4 人材の発掘・育成による学習活動の推進

(1) 現況と課題

市民の中には郷土の伝承を受け継いだ人、一芸に秀でた人、豊かな経験や技術をもった人、自己啓発を実践につなげた人がいます。また、異なる文化をもった外国人も増えています。さまざまな能力をもった市民は市の財産であり、このような市民を発掘し、活動の場をつくる必要があります。市民の能力、経験や学習の成果をボランティア活動や市民活動*に活かすことは、活動の発展とともに自己実現の喜びにつながります。

そのため、地域の人材を生涯学習に活かせるよう生涯学習人材情報の充実や活用を図ることが必要です。

(2) 主要施策

- 1 生涯学習人材情報の充実や活用
- 2 市民講師の共同研修の実施と学習提供事業の充実
- 3 生涯学習でのボランティア*の育成と活用

(3) 施策の展開

かくれた人材を発掘し、生涯学習人材情報を充実します。

団塊の世代*等の経験や知識を活用するため、生涯学習人材情報への登録を進めるとともに、生涯学習活動を支える生涯学習ボランティアの育成と活用を図ります。

基礎的な知識から高度で専門的な知識を有する多様な市民講師を発掘し、市民の学習ニーズに応えるため、市民講師の共同研修を実施し、出前講座など学習提供事業の充実を図ります。